

## 特集「マルチメディア，分散，協調とモバイル (DICOMO2005)」 の編集にあたって

星 徹†

ユビキタス情報社会の実現に向けて，革新的なネットワーク技術とそのサービスシステムの研究の重要性がますます高まっている．DICOMO は，本学会のネットワーク関連の研究会が一同に介してシンポジウムを開催し，マルチメディア，分散，協調とモバイルの4つをキーワードのもとに，お互いに情報を交換し，研究課題や研究成果を発表しあってそのつながりを広めてきた．そして，この分野における強力な研究発表の場としてその役目を果たしてきた．

DICOMO は，平成9年に「マルチメディア通信と分散処理研究会，グループウェア研究会（平成13年度から「グループウェアとネットワークサービス研究会」に名称変更）と「モバイルコンピューティング研究会（平成12年度から「モバイルコンピューティングとワイヤレス研究会」に名称変更）の3研究会の共催により，北海道二セコにて第1回のワークショップを開催した．

その後，平成10年度はワークショップからシンポジウムに変更して，鹿児島指宿にて開催，平成11年度は南紀白浜にて，平成12年度は加賀市山代温泉にて，平成13年度は鳴門市にて，平成14年度は西伊豆土肥温泉にて，平成15年度は阿寒湖にて，平成16年度は長崎県雲仙にて開催し，そのつど関連する研究会が共催に加わった．

平成17年度は，DICOMO2005 シンポジウムとして，「マルチメディア通信と分散処理研究会」，「グループウェアとネットワークサービス研究会」，「モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会」，「分散システム/インターネット運用技術研究会」，「高度交通システム研究会」，「高品質インターネット研究会」，「コンピュータセキュリティ研究会」，「ユビキタスコンピューティング研究会」の8つの研究会が共催し，「電子化知的財産・社会研究会」と「放送コンピューティング研究グループ」が協賛して花巻温泉にて開催された．その結果，発表論文が202件におよび，日夜活発な発表と議論が交わされた．

DICOMO2004 で，推薦論文を機関論文誌のDICOMO 特集号として発行することになった．DICOMO2005 においてもこれを踏襲し，機関論文誌の特集号として「DICOMO2005」を発行することを企画提案し，論文誌編集委員会で承認され，DICOMO2005 論文誌編集委員会が発足した．そして，DICOMO2005 プログラム委員会から推薦された優秀論文に対して改めて論文投稿を依頼した．投稿された論文は通常の論文誌への投稿と同じ手順で，メタレビュアーと査読者2名で査読を行った．この結果，招待論文を含め合計21件の論文が本特集号の論文として採録となった．招待論文は，ユビキタス情報社会にふさわしいテーマで，日立製作所の宇佐美光雄氏に，超小型RFIDタグミューチップに関する論文を投稿いただいた．

最後に，本特集号が，ユビキタス情報社会を支える技術の発展に貢献すれば幸いである．また，多数の優れた論文を投稿いただいた方々，短い時間での査読をお願いし快く引き受けていただいた査読者の方々に感謝したい．

「マルチメディア，分散，協調とモバイル (DICOMO 2005)」特集号編集委員会

- 編集長  
星 徹 (東京工科大)
- 幹事  
吉野 孝 (和歌山大)
- 編集委員  
渥美幸雄 (専修大)，阿倍博信 (三菱電機)，新井克也 (NTT)，岡田謙一 (慶應大)，河口信夫 (名古屋大)，菊池浩明 (東海大)，北口善明 (インテック W&G)，斉藤 健 (東芝)，砂原秀樹 (奈良先端大)，高橋 修 (はこだて未来大)，高橋和範 (日立)，西垣正勝 (静岡大)，東野輝夫 (大阪大)，藤田 茂 (千葉工大)，藤野信次 (富士通研)，水野忠則 (静岡大)，三宅基治 (NTT ドコモ)，渡邊晃 (名城大)

† 東京工科大学